



組合消防マスコットマーク  
"りゅうじんくん"

# 広域消防 おおず

第  
117  
号

2022.12

構成市町  
大洲市  
内子町

令和4年度

防火ポスター 最優秀賞作品



防火ポスターの記事は、  
3ページをご覧ください。

大洲地区広域消防事務組合ホームページから、申請・届出の様式をダウンロードできます。

<http://ozu119.jp/>

# 新谷を守る

シリーズ

わが町の消防団！ No.59

大洲市消防団新谷分団

分団長 作森 謙二

私たち新谷分団は大洲市の東に位置し、4部編成で正副分団長以下78名の団員で活動をしています。

新谷は江戸時代には1万石の城下町で、歴史的な建物があります。中心部を流れる矢落川は、毎年のように氾濫危険水位近くまで達し、私たちは毎年樋門出動や警戒広報に出動しています。

平成30年の水害では、市内中心部から溢れた水が新谷駅手前まで押し寄せ、国道沿いの家屋や各種企業などの多くが被災しました。年々増す突発的な水害をはじめ様々な災害などに対して、地域の方々や自治会、自主防災の方々との連携を取りながら、住民の生命と財産を守っていきけるよう、訓練を重ねたいと思います。

年間の主な活動は、毎月のポンプや詰所点検の他に、夏は新谷の花火警備、防火デー訓練や年末夜警などです。また、新谷小学校の防災授業への参加なども積極的に行なっています。今年8月末には大洲市、内子町、西予市合同防災訓練にも大洲市消防団を代表して、新谷分団が中継送水訓練に参加させていただきました。大規模な訓練に参加し学んだことを、今後の災害対応に役立てたいと思います。

これからも火災出動はもとよりですが、水害対応や団員の確保など、地域住民の方々との連携を取りながら、共に安全な地域づくりをしたいと思います。



## 船外機付救命用ゴムボート 訓練

大洲消防署長浜支署

大洲消防署長浜支署には、大洲消防署と内子消防署の中で唯一海岸線があります。この海岸線での水難事故に備えて配備されているのが、船外機付救命用ゴムボート（龍神丸）です。

高本金充支署長以下長浜支署職員12名が、船外機付救命用ゴムボートの訓練をしました。基礎操船訓

練はもとより、要救助者の捜索・救助訓練や水難救助マニュアルに基づく潜水救助訓練を、参加者全員が本番さながらに行いました。

水難事故が発生したときに備えて、災害対応能力の向上を図りました。



# 小学生 力作 防火ポスター

大洲市と内子町の小学生を対象に、防火ポスターを募集しました。18校から108作品の応募があり、有識者による審査をしたところ、最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作25点が決まりました。最優秀賞と優秀賞は、ここに掲載のとおりです。

また、佳作以上の作品は、当組合のホームページに掲載します。

小学生の皆さん、多数の応募ありがとうございます。皆さんが作られた防火ポスターのように、これからも火災予防の気持ちを育ててください。

最優秀賞  
福岡眞子  
内子小学校6年



優秀賞  
大程愛華  
大瀬小学校6年



優秀賞



東照晴  
五十崎小学校4年

優秀賞



谷本愛衣  
喜多小学校2年

優秀賞



宮本龍之介  
大洲小学校2年

優秀賞



久保田菜々  
大洲小学校2年

## 全国消防救助技術大会 入賞

内子消防署 消防士 池田 翔星



8月26日 全国大会入賞  
7月23日 四国大会(愛媛県1位)  
6月3日 愛媛県大会優勝



内子消防署の池田翔星消防士が、8月26日に東京都(立川立飛特設会場)で行われた第50回全国消防救助技術大会に四国代表として出場しました。

全国大会という大舞台で、日頃の訓練で鍛えた技術を発揮し、ロープブリッジ渡過という種目で、見事に入賞しました。ロープブリッジ渡過は、水平に張ったロープ20メートル(往復40メートル)を渡るタイムを競います。往路は、写真右のセーラー渡過、復路は、写真左のモンキー渡過で行います。

タイムは、21.7秒でした。



9月21日には池田翔星消防士の功績をたたえ、二宮隆久組合長から表彰を受けました。

池田翔星消防士は、7月23日に香川県高松市の香川県消防学校で行われた第50回消防救助技術四国地区指導会で、愛媛県1位となり全国大会の出場権を獲得していました。

また、同日同会場で水上の部の溺者搬送という種目に、内子消防署の河井公平消防士と石川楓雅消防士が出場しました。全国大会の出場は惜しくも叶いませんでしたが、見事に入賞をしました。



人事行政の運営等の状況

大洲地区広域消防事務組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成17年条例第15号）に基づき、令和3年度の人事行政の運営等の状況を公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用状況 (R3. 4. 2~R4. 4. 1) (人)

Table with 4 columns: R4. 4. 1現在 現有数, 消防吏員, 再任用, 会計年度任用職員. Values: 108(3), 10, 1(2), (1)

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(2) 職員の退職状況 (R3. 4. 2~R4. 4. 1) (人)

Table with 4 columns: 定年退職, 勸奨退職, その他, 計. Values: 3, 0, 5(2), 8(2)

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員について外書き

(3) 年齢別職員構成の状況 (R4. 4. 1) (人)

Table with 7 columns: 区分, 18~20歳, 21~25歳, 26~30歳, 31~35歳, 36~40歳, 計. Values: 11, 26, 12, 7, 10, 108(2)

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(4) 階級別勤続年数の状況 (R4. 4. 1) (人)

Table with 7 columns: 階級, 5年未満, 5~14年, 15~24年, 25~34年, 35年以上, 計. Values: 1, 5, 12, 26(1), 16(1), 10, 38, 29, 27, 21, 16, 15(2), 108(2)

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

Table with 6 columns: 区分, 歳出額 A (千円), 実質収支 (千円), 人件費 B (千円), 人件費率 B/A, 令和2年度の人件費率. Values: 959,456, 20,761, 754,791, 78.7%, 81.2%

※ 人件費には、特別職及び会計年度任用職員に支給される報酬等を除く

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (R4. 4. 1)

Table with 4 columns: 区分, 平均給料月額, 平均給与月額, 平均年齢. Values: 264,869円, 340,848円, 36.2歳, 323,711円, 405,049円, 42.7歳

※ 組合の額及び年齢については再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除く

(3) 職員の初任給の状況 (R4. 4. 1)

Table with 3 columns: 区分, 組合, 国. Values: 171,700円, 182,200円, 150,600円, 150,600円

(4) 級別職員数の状況 (R4. 4. 1)

Table with 4 columns: 区分, 標準的な職務内容, 職員数(人), 構成比. Values: 45, 9, 22(1), 13(1), 7, 11, 1, 108(2), 41.7%, 8.3%, 20.4%, 12.0%, 6.5%, 10.2%, 0.9%, 100.0%, (100.0%)

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員について外書き、会計年度任用職員については除く

(5) 職員手当の状況

Table with 4 columns: 区分, 内容, 国の制度との異同, 国の制度と異なる内容. Rows: 扶養手当, 住居手当, 通勤手当, 期末手当 勤勉手当. Values: 配偶者6,500円, 16,000円を超える家賃を支払っている借家居住者, 通勤距離片道2km以上, 支給割合(3年度), 期末手当 2.40(1.35)月分, 勤勉手当 1.90(0.90)月分, 同, 同, 同, 異, 同

3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況

Table with 4 columns: 勤務種別, 1日の勤務, 休憩時間, 週休日. Values: 8時30分~17時15分, 60分, 土・日曜日, 8時30分~翌日の8時30分, 60分2回, 4週を通じて8日

## (2) 主な特別休暇など

種 類	休暇の概要、取得の要件など	
有給休暇	年次有給休暇	1年につき20日（前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日）
	病気休暇	負傷または疾病のため、医師の診断により治療する必要がある場合
	特別休暇	主な休暇 公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、短期介護休暇など
無給休暇	介護休暇	負傷、疾病または老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をする場合

## 4 職員の分限及び懲戒処分の状況

## (1) 分限処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		降任	免職	休職	降給
勤務実績が良くない場合	地公法第28条第1項第1号				
心身の故障の場合	地公法第28条第1項第2号第2項第1号				
必要な適格性を欠く場合	地公法第28条第1項第3号				
職制・定数の改廃、予算の減少により廃職・過員を生じた場合	地公法第28条第1項第4号				
刑事事件に関し起訴された場合	地公法第28条第2項第2号				

## (2) 懲戒処分者数

処 分 事 由		処分の種類			
		戒告	減給	停職	免職
法令に違反した場合	地公法第29条第1項第1号				
職務上の義務に違反し、または職務を怠った場合	地公法第29条第1項第2号				
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	地公法第29条第1項第3号				

## 5 職員のサービスの状況

## (1) サービス規律の遵守に関する取組みの状況

通達の発出や各種研修を実施し、職員のサービス規律の遵守に務めている。

## (2) 休暇の取得状況

区 分	職員数 (人)	特別 休暇 (日)	病気 休暇 (日)	年次有 給休暇 (日)	年次有給休暇の 平均取得日数 (日)
毎日勤務者	14	48	3	129	9.2
隔日勤務者	91	343	56	757	8.3
合 計	105	391	59	886	8.4

※ 会計年度任用職員については除く

## 6 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

## (1) 研修の実施状況

区 分	研 修 内 容	研修期間 (日)	受講者 (人)
消防学校	初任教育	115	8
	専科教育（救急科、救助科）	23～37	7
救急救命研修	救急救命士養成課程	126	1
	救急救命士気管挿管病院実習	30症例	1
	救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習	2症例	4
愛媛県研修所	市町課長級研修	2	1
自主研修	人権同和教育研修	—	97
	道路交通法令講習	—	28
	安全運転技能研修	—	48
	組織力向上研修	—	95
	ハラスメント、メンタルヘルス研修	—	60

## (2) 勤務成績の評定の状況

昇任試験を定期的実施しており、試験の結果と併せて、職員の勤務実績や能力を評価し、昇任、昇格、人事異動に反映させている。

## 7 職員の福祉及び利益の保護の状況

## (1) 健康診断等の受診状況

	(人)
一般定期健康診断受診者	133
人間ドック受診者	52
各種抗体検査受診者	105

※ 隔日勤務者は、人間ドックを含め年2回の健康診断を実施している。

## (2) 公務災害・通勤災害の認定状況

区 分	認定件数	災害の概要
公務災害	0件	—
通勤災害	0件	—

## (3) 福利厚生制度に係る負担

区 分	負担額
愛媛県市町村職員共済組合	117,817 千円
愛媛県市町村職員互助会	680 千円



# カメラレポート

## 10月5日(水)～7日(金)

内子町内の中学2年生5人(五十崎中3人、内子中大瀬中各1人)が、内子消防署本署で職場体験学習をしました。大汗をかきながら、一生懸命頑張りました。

この中から、未来の消防士が誕生するかもしれません。



## 8月27日(土)

令和4年度愛媛県総合防災訓練が、内子運動公園総合グラウンドをメイン会場に、県内98機関、約7,200人が参加して行われました。写真は、消防署と自衛隊が協力して救助訓練をしている様子です。



## 8月23日(火)

大洲市北只地区の建物火災で、初期消火活動に協力していただいた西野利秋さんに、感謝状を贈りました。

勇気のある行動により、火災による被害を最小限に食い止めていただきました。



## 8月9日(火)・10日(水)

消防本部予防課は、甲種防火管理新規講習を大洲市総合福祉センターで、2日間に渡り行いました。

この講習は、受講者に防火管理者の資格を付与することが目的です。



## 6月27日(月)・28日(火)

大洲消防署本署は、職場体験学習として平野中学校の2年生1人を受け入れました。消防職員から、消防署の仕事について話を聞いたり、消防職員と一緒に火災防御訓練をしました。写真は、火災用資機材を使つての訓練の様子です。



## 6月7日(火)

大洲消防署と内子消防署は、緊急消防援助隊救助小隊の訓練を、大洲市柚木の河川敷で行いました。萬奥克利警防課長の指揮の下15人の隊員は、土砂災害時の救助活動要領を研修しました。写真は、ドローンで撮影した訓練の様子です。



救急病院案内 (0893) 24-7000		
曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	(0893) 24-2151
水	昼間 加戸病院 (08:30~17:30)	(0893) 44-5500
	夜間 喜多医師会病院 (17:30~08:30)	(0893) 25-0535
木	昼間 大洲記念病院 (08:30~17:30)	(0893) 25-2022
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211
金・土	大洲中央病院	(0893) 24-4551
日	昼間 大洲中央病院 (08:30~18:00)	(0893) 24-4551
	夜間 市立八幡浜総合病院 (17:30~08:30)	(0894) 22-3211

大洲喜多休日夜間急患センター	
診療科目	「内科」初期救急
診療時間	平日・土曜 午後7時~午後10時 日曜・祝日 午前9時~午後6時 日曜(夜間) 午後7時~午後10時 (詳しくは、大洲市ホームページをご覧ください。)
電話番号	(0893) 23-1156

令和4年12月発行

発行・編集 大洲地区広域消防事務組合  
〒795-0012 大洲市大洲1034-4

代表	24-0119	大洲消防署 本署	24-0119
総務課	24-2666	同上 長浜支署	52-0119
予防課	24-2667	同上 川上支署	34-2851
警防課	24-2668	内子消防署 本署	43-0119
		同上 小田出張所	0892-52-3292

※ 当直病院の交替(水・木・日曜日の昼間と夜間の交替以外)は、担当曜日最後の翌朝8時30分です。病院受診の際には、当直病院へお問合せください。

ホームページ <http://ozu119.jp/>